

報告書抄録

ふりがな	ろくたんだいせきに							
書名	六反田遺跡Ⅱ							
シリーズ名	中山間地域総合整備関係遺跡発掘調査報告書							
シリーズ番号	3-2							
編著者名	瀬口眞司・藤根 久・竹原弘展・渡辺正巳・吉川純子							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2				
発行年月	平成25年(2013年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東緯	調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ろくたんだ 六反田 いせき 遺跡	しがけん 滋賀県 ひこねし 彦根市 みやたちょう 宮田町	25202	076	35度 28分 65秒	136度 28分 54秒	2,513㎡	20080409 ～ 20090121	中山間地域 総合整備 鳥居本西部 地区
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
六反田遺跡	集落	縄文時代中期後葉・後期後葉～晚期前半 奈良時代末～室町時代末	貯蔵穴・土器棺墓・土坑・ピット 土坑・ピット	縄文土器・土偶・石器・石棒類・木製品(杭類)など 須恵器・土師器・輸入陶磁器・漆器椀				

要旨	<p>2つの調査区を設けた。第1調査区では3つの微高地と2つの浅い谷を確認した。遺物としては、縄文時代の土器・土製品・石器・石製品・木製品、中世の陶磁器類が出土した。最も目立つのは後期後葉～晩期中葉の宮滝式・滋賀里Ⅰ～Ⅲ式で、これに後期中葉の一乗寺K式・元住吉山Ⅰ式、後期後葉の元住吉山Ⅱ式が加わる。宮滝式期に比定できる土偶1点のほか、石棒・石刀類、漆貯蔵容器、アスファルト塊、水銀朱を塗布した土器やベンガラ塊、焼成粘土塊、骨角製ヤス、炭化球根固着土器が出土した。遺構としては、宮滝式期～滋賀里Ⅰ式期の貯蔵穴24基(その可能性のある遺構を含む)や、滋賀里Ⅲ式期の土器棺墓7基のほか、多数のピット・土坑を検出した。</p> <p>第2調査区では、自然流路に堆積した大量の縄文時代中期後葉～後期前葉の土器を検出した。また奈良時代末～室町時代末のピット・土坑、土器類(須恵器・土師器・輸入陶磁器・国産陶磁器)や漆塗り椀が出土した。</p>
----	--